

令和5年度の業績

令和5年度の我が国経済は、生産・輸出の増加基調に伴う活発な設備投資やコロナ禍からの経済活動の正常化が進展したものの、物価上昇による節約志向の高まりもあり、緩やかな回復基調となっています。

こうした情勢下におきまして、当会の貯金については、調達コストの適正化、貸出・余裕金運用の強化等を踏まえた県下JAからの受入れに取り組みま

した。また、貸出金については、資本効率の適正化を踏まえた貸出資産の積上げに取り組み、また、余裕金につきましては、市場環境の変化により顕在化した市場リスクを踏まえ、ポートフォリオの最適化に取り組みました。このような取り組みとともに徹底した業務効率化・生産性向上に取り組んだ結果、当期剰余金は29億円となりました。

■ 貯 金

県下JAをはじめとする会員を中心に期中1,665億円減少し、期末残高は7兆7,271億円となりました。

■ 内国為替

送金、振込および代金取立は、仕向の取扱件数が311,135件、取扱金額が7,900億円、被仕向の取扱件数が95,171件、取扱金額が8,832億円となりました。

■ 損 益

経済・金融情勢に応じた資金運用を行ったことに加え、諸経費の節減・合理化にも努めた結果、当期剰余金として29億円を計上することができました。

■ 融 資

会員以外への貸出を中心に期中38億円増加し、期末残高は4,564億円となりました。

また、受託貸付金については、日本政策金融公庫等の取扱いが減少したこと等により、期中28億円減少し、期末残高は265億円となりました。

■ 余裕金運用

預け金は期中242億円増加し、期末残高は5兆6,290億円となりました。

また、有価証券については、受益証券等が減少したことに伴い、期中1,638億円減少し、期末残高は1兆5,829億円となりました。

主要な経営指標の推移

(単位：百万円、口、%)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経 常 収 益	72,814	77,067	68,960	98,540	57,339
経 常 利 益	10,553	11,283	12,112	3,650	2,460
当 期 剰 余 金	9,255	7,800	11,452	6,578	2,957
出 資 金	220,402	231,402	242,402	253,402	264,402
(出 資 口 数)	(22,040,238)	(23,140,238)	(24,240,237)	(25,340,237)	(26,440,237)
純 資 産 残 高	471,962	497,029	458,086	363,409	401,209
総 資 産 残 高	8,717,452	8,807,038	8,615,894	8,372,701	8,227,899
貯 金 残 高	7,965,214	8,063,417	7,993,964	7,893,735	7,727,173
貸 出 金 残 高	538,223	509,688	476,994	452,583	456,412
預 け 金 残 高	4,495,391	4,677,996	4,448,518	5,604,747	5,629,016
有 価 証 券 残 高	3,139,312	3,051,759	3,086,775	1,746,793	1,582,958
剰 余 金 配 当 金 額	6,306	5,973	8,189	5,969	5,390
・ 出 資 配 当 の 額	3,458	3,585	3,661	3,732	3,798
・ 事業分量配当の額	2,847	2,387	4,528	2,236	1,591
自 己 資 本 比 率	17.44	17.30	17.76	16.44	16.63

注1 貯金残高には、譲渡性貯金を含んでいます。

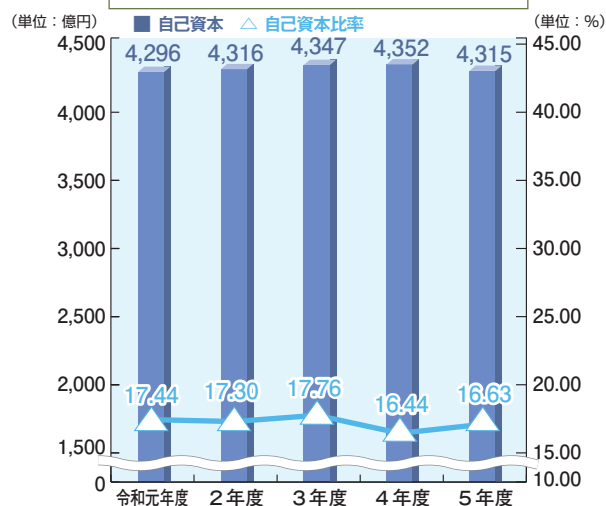
2 自己資本比率は、農協法第11条の2第1項第1号の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準に係る算式に基づき算出しております。

3 出資金には、後配出資金を含んでいます。

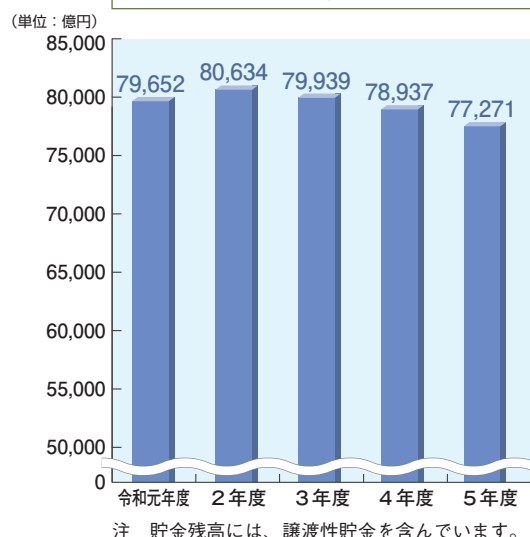
利益の推移



自己資本・自己資本比率の推移



貯金残高の推移



貸出金残高の推移



有価証券残高の推移

